

ICT ニュース

肺炎と肺炎球菌について

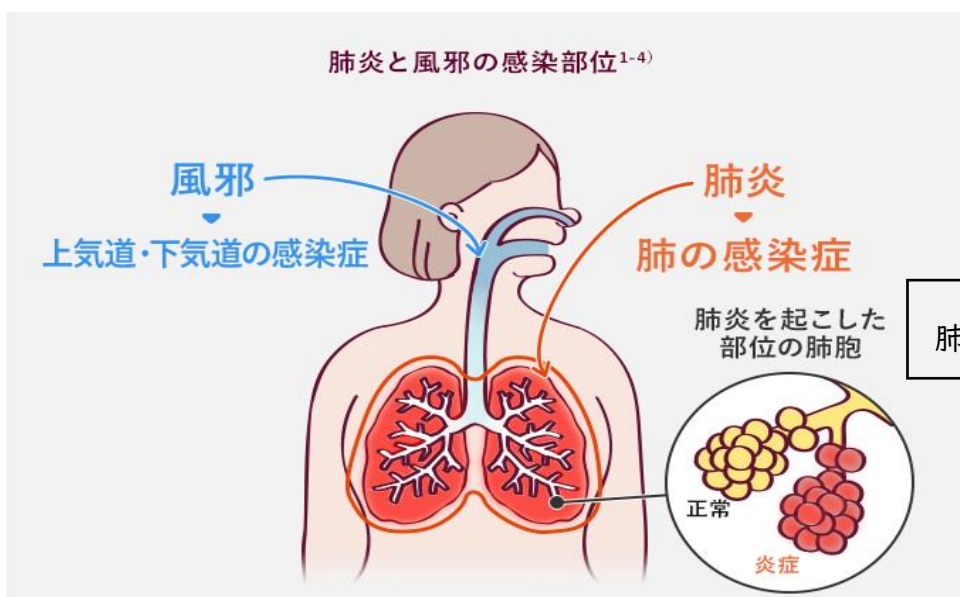
寒い季節となり、体調を崩された方も多いのではないのでしょうか？肺炎は、風邪やインフルエンザでダメージを受けた粘膜や気管が、肺炎の原因になる細菌の温床になってしまう事で併発すると言われています。ここでは肺炎と肺炎を起こす原因菌で最も多い「肺炎球菌」についてお話します。

風邪と肺炎の違いは？

症状的にはよく似ており、発熱、咳、痰などの症状があります。しかし、似ているからといって同じ病気ではありません。大きな違いは感染部位の違いにあります。

風邪 → 鼻や喉など気道の感染症、主にウイルス（インフルエンザやアデノウイルスなど）が原因

肺炎 → 肺の中の肺胞の感染症、主に細菌（肺炎球菌、レジオネラなど）



酸素を取り込み、二酸化炭素を吐き出すところ

典型的な症状の違い

風邪→発熱、痰、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、喉の痛み、頭痛、体がだるいなど



肺炎→発熱（38℃以上の高熱）、黄色、緑色の痰、息切れ、呼吸時の胸痛、痰を伴う咳、疲労感など

※注意※

ご高齢の方の場合は、高熱も出にくくなり、症状がはっきりと現れない場合があります。高齢者は以下の症状にも注意が必要です。

- 元気がない
- 食欲がない
- 寝てばかりで動かない
- 意識がはっきりしない

入院の必要性

風邪→不要。たいていは自然に治ります

肺炎→重症の場合は必要となります



ご高齢の方は体力、免疫力が低下している為、肺炎と気付かずに急激に症状が進行し、重症化する危険なケースもあります。

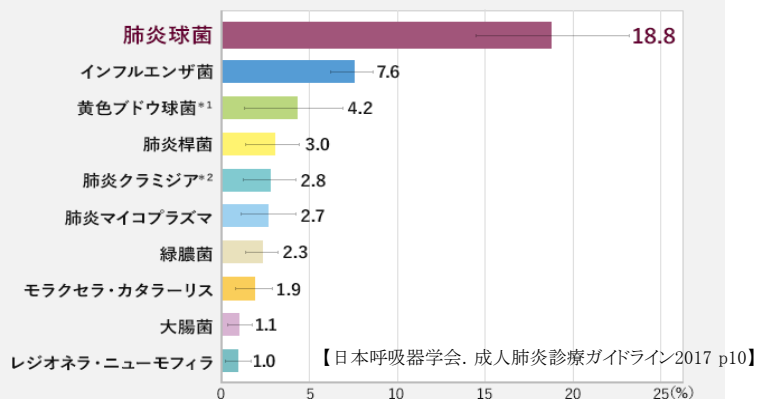
上記症状、または上記症状が長引く場合には、お早めに医師にご相談ください。

肺炎の原因とは？

風邪をひく、インフルエンザにかかる、老化による体力の衰え、糖尿病・呼吸器や心臓に持病があるのが原因で、体の抵抗力（免疫力）が弱まると、細菌などに感染しやすくなり、細菌が肺に入り込んで肺で増殖。炎症が起こり、“肺炎”を発症します。

肺炎を起こす原因菌で最も多いのは、「肺炎球菌」です。

国内9研究（市中肺炎3,077症例）、上位10病原微生物
（メタアナリシスにより95%信頼区間を追加）



*1: MSSA, MRSAを区別している201株のメタアナリシスではMRSAは28.4% (95%CI 13.2-43.6) であった。

*2: Micro-IF法による診断率 (2論文) 28/922=3.0%、ELISA法による診断率 (5論文) 71/2,022=3.5%

インフルエンザ流行時に
肺炎で入院した患者の
原因菌として

肺炎球菌

が一番多いことが報告されて
います。

肺炎球菌ってどんな菌？

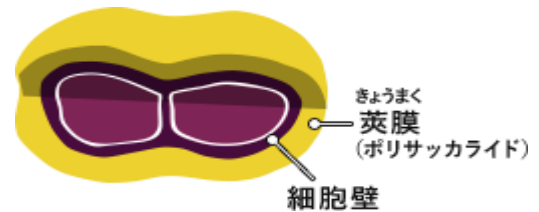
莢膜（きょうまく）という分厚い膜に包まれていて、体の免疫からの攻撃に強く、退治するのが難しい細菌です。

しかも、**抗菌薬（抗生物質）が効かない耐性菌**も登場し、肺炎球菌感染症は重症化しやすく、現代でも危険な感染症です。

その名の通り「肺」に感染して「肺炎」を起こすことが多いですが、他にも血液、脳、髄膜に感染することもあります。

肺炎球菌が髄液又は血液から検出された感染症のことを、“**侵襲性（しんしゅうせい）肺炎球菌感染症**”と言います。

この感染症は7日以内に**保健所に届け出**が必要です。（感染症法の5類感染症に分類）



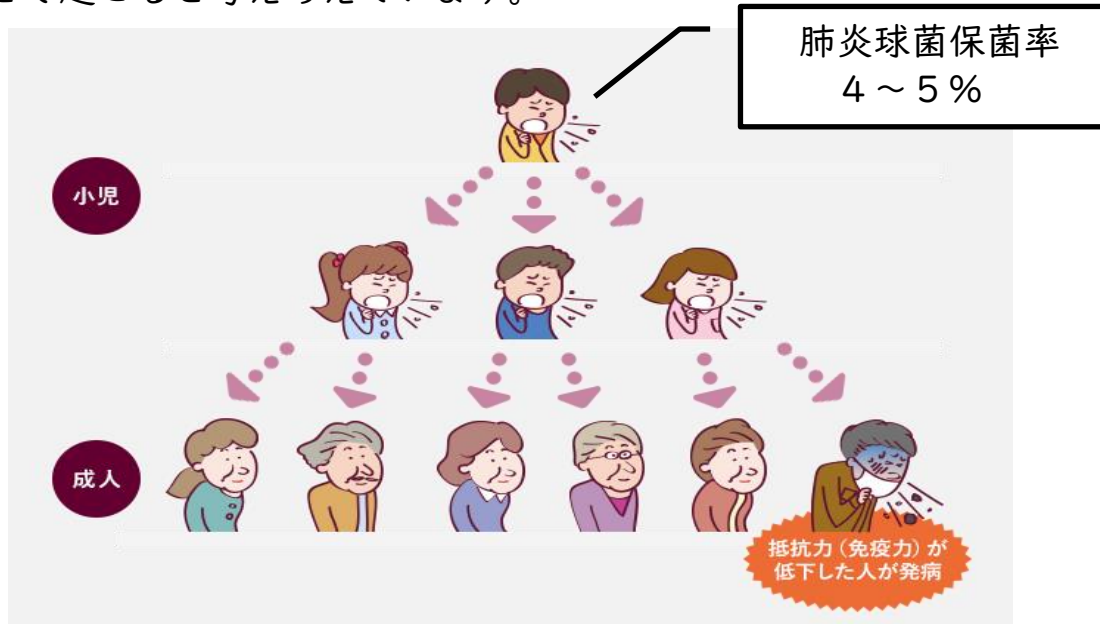
どうやって感染していくの？

主に小児の鼻や喉に住み着き、咳やくしゃみによって周囲に飛び散り、それを吸い込んだ人へと広がっていきます。

肺炎球菌を持っているのは成人ではごくわずかです。

小児と触れ合う機会が多い抵抗力（免疫力）が低下している人がかかりやすいという報告があります。

つまり、成人の肺炎球菌感染症は、小児に住み着いている肺炎球菌が感染することで起こると考えられています。



予防策は？



①マスクやうがい、手洗いをする

口腔ケア（歯磨きなどで口の中を清潔にし、誤嚥（ごえん）を防ぐ）も行い、細菌やウイルスが体に入り込まないようにする。

②体の抵抗力を強める

例えば、規則正しい生活を送り、禁煙をする。
もともと持っている病気は、ほったらかしにせず治療をする。



③予防接種を受ける

肺炎で亡くなる方の約95%が65歳以上であることから、平成26年10月から「肺炎球菌ワクチン」による高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種が始まりました。皆さんも一度はテレビのCMなどで見たことがあることと思います。

下記に当てはまる方は、**助成対象者**ということで、**5,000円**で受けることができます。

※生活保護世帯の方は「生活保護支給票」、市民税非課税世帯の方は「市民税非課税世帯確認通知書」または「介護保険料決定通知書（保険料所得段階1～4）」をご提示いただくと**無料**となります。

助成接種対象者：**仙台市に住民票**があり、下記①～③に当てはまる方で、**過去に肺炎球菌ワクチン**（23価肺炎球菌ワクチン）**を一度も受けたことがない方**。

H30年4月1日～H31年3月31日の間に、

- ①65、70、75、80、85、90、95、100歳になる方。
- ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能の障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害のある方（身体障害者手帳1級相当程度）
- ③接種日に66～69歳の方

助成対象者以外の方でも、もちろん接種は**可能**です。
当院での料金は **8,000円+税** となります。

肺炎球菌ワクチン（予防接種）は、
当院では **【予約制】** となっております。

接種希望の方は、事前にご連絡・ご相談ください。

